

こうち男女共同参画センター「ソーレ」情報誌

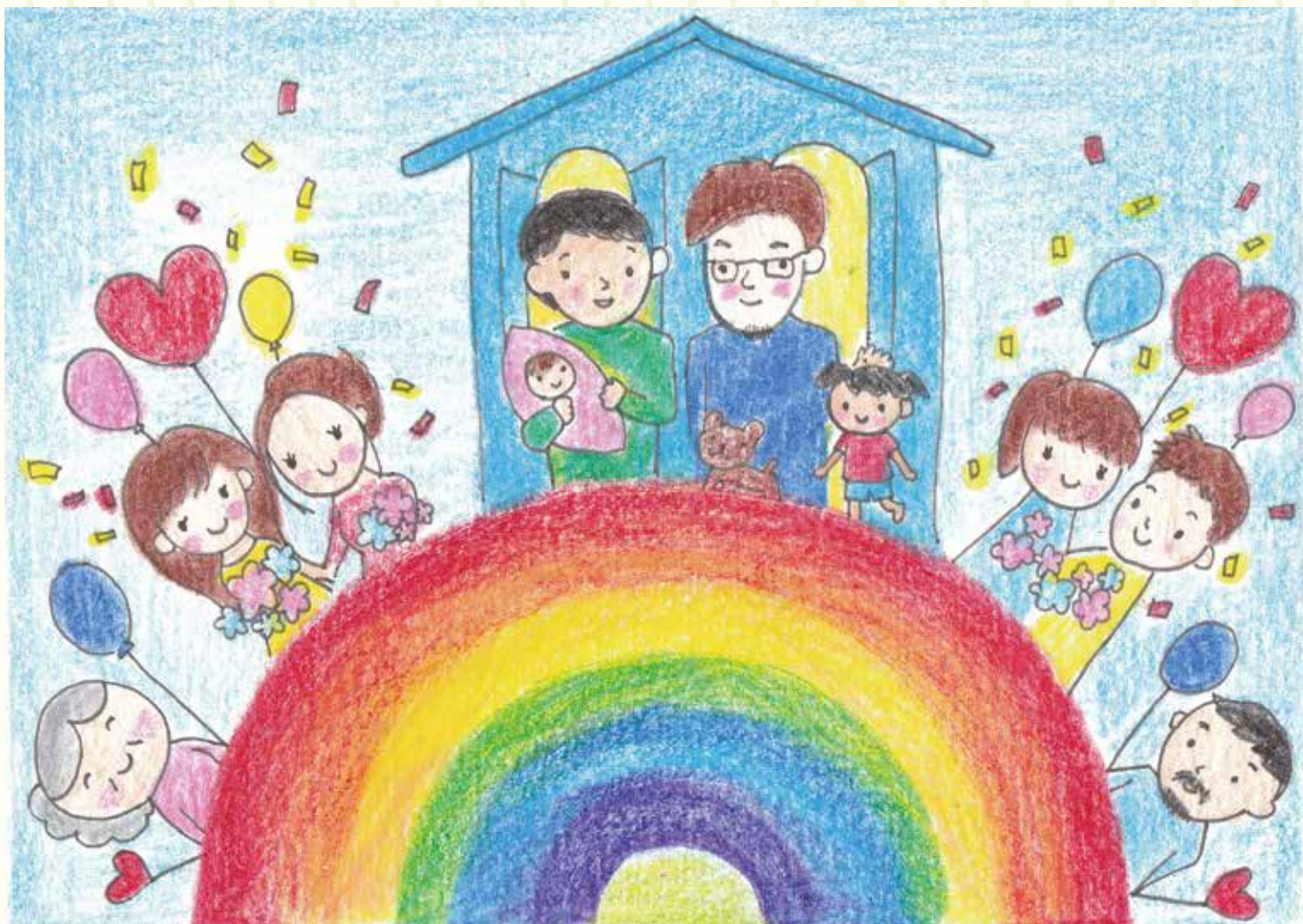
ソーレ・スコープ

第81号

2017.JULY

自分らしい生き方、応援します！

Take Free



イラスト：ヒビノケイコさん
(4コママンガエッセイスト)

特集

ありのままの自分で生きられる社会へ
今こそ、防災に女性のチカラ！

～あなたと家族を守るために～

暮らしにひとさじエッセンス

「大人のあなたに、絵本のススメ！」

HP <http://www.sole-kochi.or.jp>

高知 ソーレ

検索

Facebook

7月より開始！！



ありのままの^{自分}で生きられる社会へ

あなたにも私にもある 「^{ソジ}SOGI(性的指向と性自認)」

私たちは一人一人が生物学的な身体の性と同じように、好きになる人の性(性的指向:Sexual Orientation)と、自分はどの性かという認識(性自認:Gender Identity)を持っています。この2つを合わせて「SOGI(ソジ)」と言います。



多くの人は、自分の身体の性と自分自身が思う性別がほぼ一致し、そこに迷いを感じる人は少ないかもしれません。当たり前のように「自分は女性・男性だ」と思っています。

しかし全ての人が、そのように思っているわけではありません。「身体の性は女性、性自認は男性」、「身体の性は男性、好きになるのも男性」と思っている人がいます。また「自分は女性でも男性でもない」「女性も男性も好き」という人もいます。このような人のことを、人数が少ないことから性的マイノリティと言います。耳にする機会の多いLGBT^{※1}は、多様な性を表す性的マイノリティの中の4つの頭文字を並べたものです。

そもそも性的指向も性自認も、明確に女性と男性の2つに分けられるものではありません。境界はあいまいでグラデーションのようになっていて100人いれば100通りのSOGIがあり、私たちはみんな、自分らしく生きられるSOGIで生きています。

「いない」のではなく、 「見えていない」だけ

女性か男性かという性別で区別されることの多い社会の中で、性的マイノリティは生きづらさを感じています。

「自分の周りには性的マイノリティはいない、会ったことがない」と思う人もいるかもしれませんが、2016年に行った調査^{※2}によると人口の約8%が、性的マイノリティの当事者でした。AB型の人や左利きの人が人口の約1割ということから考えても、周りに全くいないはずはありません。

では、なぜ私たちは性的マイノリティの存在に気が付かないのでしょうか。

それは、どのような性自認なのか性的指向なのかは、見た目ではわからないため、自分の身近にいることに気が付くことができないからです。

また、当事者は自分が性的マイノリティであることを知られると、周りにどう思われるだろう、嫌われるのではないかと不安を感じてしまい、自分が性的マイノリティであることを話すことができないからです。

そして当事者は本当のことを言えずに悩んだり、自分らしい姿で生きられないことに息苦しさを感じています。

さらに、私たちが気付いていないことが当事者の生きづらさを深刻にし、また知らず知らずのうちに傷つけてしまうこともあります。

私たちは性にも多様性があることを知り、当たり前のこととしてとらえていく必要があります。

性的マイノリティのよき仲間 —アライ(Ally)—

アライとは、「協力者」という意味で、ここでは性的マイノリティを理解する仲間のことです。

アライとして活動するきっかけはさまざまで、家族が当事者だからという人もいます。また、日々一緒に行動することで、性的マイノリティであることは一つの個性のようなものと受け入れ、困っている友達のために何かしたいという人もいます。

正しい理解がないと不用意な言葉や態度が当事者を傷つけたり、当事者が周囲に打ち明けたり、人前に出て活動することが難しい状況になります。そこでアライは当事者とともに、性的マイノリティへの正しい理解を広める活動を行っています。例えば、性的マイノリティを意



味する言葉で盛り上がるような場面で、周囲に傷つく人がいるかもしれないと伝えることも、その第一歩です。

「こうでないといけない」と決めつけられ、誰かが生きづらさを感じる社会は、性的マイノリティの人にも、そうでない人にとっても生きづらい社会です。全ての人が、ありのままの自分らしく生きられる社会を目指して、アライは活動しています。



文字のレインボーカラーは性的マイノリティ尊重を表しています。

コナツハット!SA和CH!

県内にもSOGIや当事者の人権が認められる社会を目指して、多様な性のあり方に理解を広げる活動やネットワークを形成しようと、アライの団体が昨年8月に立ち上がりました。

皿鉢料理のように、「わたしがわたしである」ために多様な性のありようSOGIを認め合う仲間を目指して、県内各地で地域に密着した活動を行っています。

〈お問い合わせ先〉 Email sawachi.sogi@gmail.com

Facebook「social ally コナツハットsawachi」 Twitter「@sawachi2016」で検索!

性的マイノリティの人の生きづらさの例

●望まない性での生活の強要



●差別的な言動



●好きな人と結婚したいけど、同性だから結婚できない。



●信頼して打ち明けたら、翌日にはクラス全員が知っていた。



※1 LGBTを含む性的少数者。L=レズビアン(女性の同性愛者)、G=ゲイ(男性の同性愛者)、B=バイセクシャル(両性愛者)、T=トランスジェンダー(体の性と心の性が一致しない状態)
※2 出典:LGBT総合研究所調査(2016年5月実施 有効回答数89,366名)

○同性婚の実現に向けて

現在、日本では同性同士の結婚は認められていませんが、東京都渋谷区では2015年から条例で「結婚に相当する関係」と認め、パートナーシップ証明書を発行しています。

また、札幌市や那覇市など他の自治体でも同性パートナーシップに関する要綱が作られるなど同性婚の実現に向けた制度等が増えつつあります。

○性的マイノリティに対する差別は、セクハラ

性同一性障害の職員が女性トイレの利用を認められないのは不当として裁判を起こしたことを受け、国家公務員の就業規則では「性的指向もしくは性自認に関する偏見に基づく言動」がセクシュアルハラスメントに含まれ、人権侵害と認められました。

○広がるSOGIハラスメントへの理解

性的指向や性自認に関連して、差別的な言動やいじめ・暴力などの精神的・身体的嫌がらせを受けたり、望まない性別での学校生活、職場での不当な異動や採用拒否・解雇などといった差別を受けて社会生活上の不利益を被ることをSOGIハラスメントとして、知ってもらおうという動きが広がっています。

今こそ、防災に女性のチカラ！

～あなたと家族を守るために～



これまでの大規模災害の経験から、女性のチカラを生かし、多様な人が防災や復興に参画できる地域づくりが必要とされています。

避難誘導に女性のチカラ ～災害時の平日昼間問題～

平日の昼間、あなたやあなたの家族はどこにいますか。おそらく家族全員が一緒にいる人は少ないでしょう。住んでいる地域を見ても、そこにいるのは高齢者や女性。小さな子どもがいたり、高齢者や障害を持った人を介護している人も少なくありません。

東日本大震災が発生したのは、金曜日の午後2時46分。このときの避難行動を見ると、女性は男性に比べ、数名でまとまって避難した割合が高くなっています。これは女性が地域に残っていたり、働いていても自宅の近くだったため、家族や地域の人たちに声をかけて一緒に避難したからです。また、普段から家族内でケアを担うことが多い女性だからこその結果とも言えます。

こうしたことから、女性が地域の避難計画や訓練の企画・運営の中枢に加わることで、計画や訓練の効果が高くなり、平日の昼間に災害が発生しても、地域にいる人たちで対応することができます。

避難所運営に女性のチカラ

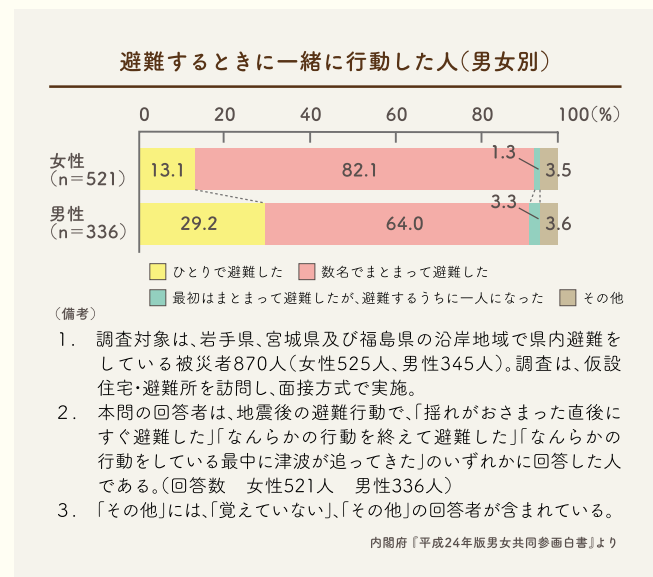
避難所に行けば命が助かるというわけではありません。阪神・淡路大震災では避難所で多くの高齢者が亡くなり、その人数は震災で亡くなった人の14%にもなりました。熊本地震でも、避難生活での疲労や環境の変化によって亡くなった人や、水分摂取が不足し血栓が生じるエコノミークラス症候群で病院へ搬送される人が少なくありませんでした。こうしたことは高齢者だけに起こるとは限りません。年代に関係なく心身を病むことがあります。これは多くの人が生活する避難所の衛生面の問題やプライバシーが守られないことなどで、身体的・精神的疲労を感じる事が原因の一つです。

また東日本大震災の際、避難に支援が必要だった人の中には、避難しようと思えばできたにもかかわらず避難しなかった人がいます。その理由は、「設備や環境の問題から避難所では生活できないと思った」「他の避難者も多く、避難所にはいづらいと感じると思った」というものでした。避難した人もその半数が、避難先で病気にかかったり、症状が悪化しています。

地域で生活する人々は、性別、年齢、健康状態など、さまざまです。これまでの避難所運営では「みんなが平等に」と考えてしまうケースが少なからずありましたが、最近是多様性に配慮し、被災者一人一人のニーズに対応することが、被害を最小限にするために必要だと考えられています。

現状では、家庭や保育・医療・介護の現場において、主な役割を担っている人の多くが女性です。生活に根差した知識や能力を生かし、災害時の多様なニーズに対応する力を発揮できるのは女性なのです。

そういった意味で女性もリーダーシップを発揮しやすい体制をつくり、男女双方で避難所運営を行うことができるように、事前に体制を整えておく必要があります。



6月3日に開催されたソーレ主催事業「女性防災プロジェクト」における浅野幸子さん(減災と男女共同参画研修推進センター共同代表)の講演内容を参考に作成しています。

防災活動に女性の参画をすすめるために

地域の防災活動に参画する女性を増やそうと思っても、「男性ばかりの中で私なんかが」、「小さな子どもがいるから」とちゅうちょする人も多いでしょう。そんな中、女性に積極的に参画してもらおうと、独自に取り組みを進めている地域があります。

高知市下知地区減災連絡会の取り組み

高知市の下知地区減災連絡会では、役員に女性枠を設けて、積極的に女性の声を生かす活動を進めています。例えば、地区の避難施設である下知コミュニティセンターには、オムツはもちろん、なんと分娩セットまで備蓄されていますが、これは女性役員の意見によるものです。

取材の日、事務局長さんが、子育てサロン 下知スマイルひろばで、赤ちゃんのいる家庭での減災についてお話をされていました。

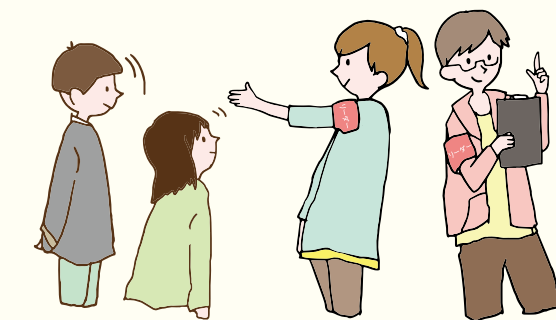
今回のテーマは、地域の民生児童委員さんが、赤ちゃんのいる家庭を訪問する中で「地震が起こったときのことを考えると不安」という声をよく耳にしたことから企画。

参加されたのは、下知地区に住む子育て中の親子12組。「住んでいる地域に自主防災会はありますか」「逃げるべき、津波避難ビルを知っていますか」といった質問に、地域の防災マップを覗き込む姿は真剣そのもの。時には、話している事務局長さんのところに、ハイハイで向かっていく赤ちゃんもいたりといった和やかな雰囲気でしたが、「小さな命を守るために何をしなければいけないのか」という思いが、その表情から伝わってきました。



○お話の中から、減災のポイントをご紹介します。

- 大人用の支援物資は比較的届きやすいが、子ども用のものは遅くなるので、非常用持ち出し袋には子ども用のものを入れておく。
- 避難する際には、がれき等があるためベビーカーは使えない。両手使えるおんぶで逃げるのが基本。
- 子どもがいたら泣き声等周囲への気遣いから避難所にいづらく、自宅に戻ってしまいがち。しかし在宅避難は、現状では支援物資が届きにくい。
- 発災時に子どもたちが困らないためにも、地域の防災活動に参加して、日頃不安に思っていることを教えてほしい。そうすることで地域で、子どもたちへの備蓄や配慮ができる。



国の防災計画にも、多様な立場の人への配慮の重要性が書き込まれ、女性をはじめとした当時者の参画を積極的に進めることが求められています。

安芸市川向自主防災会の取り組み

- 副会長や副班長には男女各1名、名簿は世帯主(=男性)ではなく個人単位といったことを規約に明記し、役員に女性枠を設置
 - 会議は月1回、1時間と短時間に限定し、性別や年齢に関わらずだれでもが参加しやすい時間帯に開催
 - 災害時に活動するメンバーは分からないので、防災訓練の際には役割を性別で分けず(例えば炊き出しは女性)、事務局がランダムに決定
- といったことを進めた結果、自然と自主防災活動における女性の輪が広がっています。

相談室から

ひとりで悩んでいませんか。相談は無料です。秘密は厳守します。まずはお電話ください。



●一般相談 無料 女性対象

相談室直通電話

☎ 088-873-9555

相談時間 9:00～12:00
13:00～17:00

●専門相談 予約制・無料

予約電話

☎ 088-873-9100

予約は、翌月分を当月1日より受け付けます。相談日が変更になる場合があります。

女性対象

▶法律相談

1人30分

毎月第2、4木曜日
14:00～16:00

▶こころの相談

1人50分

毎月第1木曜日
14:00～16:00

男性対象

▶男性のための悩み相談

1人50分

毎月第1、3火曜日 第4水曜日
18:00～20:00

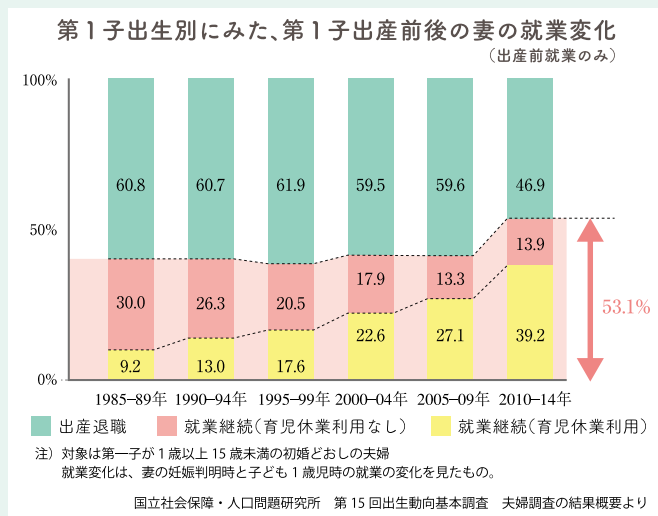
大規模災害が起こったとき、ソーレでは早期に相談室を開く予定です。



数字でみる男女共同参画

出産後も仕事を 継続した妻の割合

53.1%



第1子出産後も仕事を続けている妻の割合が、初めて5割を超えました。これは5年に1度実施される、国立社会保障・人口問題研究所の出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)で昨年発表された結果です。

日本の女性の労働力率は、結婚・出産にあたる時期に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇するM字カーブを描きます。1985年以降第1子出産後も仕事を継続する妻の割合は、40%前後で推移していました。しかし2010～2014年に第1子を産んだ妻は、前回の調査から12.7%と大きく増え、働き続ける妻が半数を超えました。

これは、育児休業を利用して働き続けた割合が、前回から12.1%増えるなど、女性活躍推進法が施行され女性が働き続けることを推し進める雰囲気広がりが育児休業が取りやすくなったことなども影響していると考えられます。

しかし、今なお半数近い妻が退職しているのも事実です。同じ調査で、15歳未満の子どもを持つ現在無職の妻の86%が働くことを希望しているという結果があります。子どもの年齢が0～2歳未満でも12.4%が「すぐにでも働きたい」と回答しており、「働きたい」にもかかわらず、出産にともない退職する女性がいることがうかがえます。

さらに詳しく見ると、働き続けている割合は、働き方によっても大きく違うことが分かります。

働き方を見た出産後の就業継続率			
	正規の職員	パート・派遣	自営業等
就業継続率	69.1%	25.2%	73.9%
うち育児休業利用率	59.0%	10.6%	8.7%

同じように雇われていても、正規の職員は約70%が働き続けているのに対し、パート・派遣の場合は25%にとどまっています。

この背景には、パートや派遣といった非正規雇用での働き方が、結婚までの一時的な働き方や結婚している女性の家計補助的な働き方と考えられてきたことがあります。しかし最近では若い世代を中心に、学校を卒業後すぐに非正規雇用で働く人が増え続けています。非正規雇用でも育児休業は制度的に認められているにもかかわらず育児休業が取りづらい状況は、結婚や出産をためらう原因にもなり、晩婚や少子化にもつながります。



絵本は、子どものものって思いませんか？

確かに絵本は、子どものために書かれたものですが、子どもだけのものではありません。今回は、絵本セラピストの尾崎美樹さんに、大人だからこそ絵本の楽しみ方を伺いました。

絵本は自分の心を映し出す

子どもは絵本を読むとき、その物語に入り込んで、絵本の世界を体験しています。登場するウサギになってみたり、魔法使いになってみたり。読み聞かせをしていると何度も何度も「読んで」とせがまれるのは、そのためです。大人がジェットコースターに繰り返し乗るように、絵本の世界を楽しんでいるのです。

大人は子どもとは少し違って、物語を自分に引き寄せて読みます。シンプルに描かれた文章や絵を、自分の経験に重ね、価値観や、そのときの感情を投影させながら、そこには描かれていない登場人物の心理や関係性などにまで思いを巡らせて読んでいきます。

感想を素直に受け止めると、新しい自分に気づいたり、悩みを解決するためのヒントに出会うことがあります。

絵本を楽しむためには

図書館や書店で実際に絵本に触れてみる。たくさんの絵本の中から、表紙の絵や文章など、そのときの気持ちにぴたりとくる本を

この人に聞きました。

絵本セラピスト

尾崎 美樹さん

尾崎さんは、大人に読み聞かせを行い、感じたことを話し合う「絵本セラピー」を県内で開催しています。絵本を通して、参加者がお互いの価値観を認め合う、自分にも人にも優しくなる心地のよい空間です。開催については、Facebookや「オフィス エミナス」のHPで。



選ぶことも楽しみ方の一つです。

また、できれば誰かに読んでもらって文章ではなく絵を追うようにする。文字を追っていると論理的に考えてしまいがちですが、絵は感情に働きかけるので、心により深く入り込みます。また、最初は読んでも何だかわからない本も何度も読み返すうちに、ふいに物語がストンと理解できることがあります。

たくさんの絵本を読むうちに、「この絵本に出会えてよかった」と思う一冊が見つかると思います。

感想は人それぞれ

例えば、心に元気がないときにお薦めの絵本は「だんろのまえで」。描かれた暖炉にあたたかさを感じてホッとしたり、動物の愛らしさにひかれたり。また文章のどの言葉を切り取り、何を感じるかも人それぞれ。読む人の経験や価値観が反映される絵本だからこそ、その感想からその人自身が見えてきます。

また感想を人と共有することで、「私はこう見たけど、そういう見方もあるんだ」と気付き、その違いを楽しむことができます。絵本というファンタジーを通していいからこそ、自分が感じたことを素直に語ることができ、また人によって多様な見方があることも理解しやすく、自分と違った価値観を楽しむことができます。

～お薦めの絵本を紹介してもらいました～

心に元気がないときに

「だんろのまえで」

作・絵: 鈴木 まもる 出版社: 教育画劇

雪山の中でまよってしまった「はく」が歩いていると…大きな本の中で、暖炉を囲む動物たち。火を眺めているうちに、「はく」はなんだかゆったりとした気持ちになり…



自分探しにつかれたあなたに

「はなとおこ」

作: ヴィヴィアン・シュワルツ 絵: ジョエル・スチュアート
訳: ほむらひろし 出版社: 偕成社

自分がしあわせになれる居場所を探して世界中を旅する「はな」の話。最後にたどりついたところは？
何だか奇妙にも感じられるイラストにも味わいがあります。



お薦めの絵本はソレーにもあります

ご存知ですか？

ソレーには、「どなたでも」「1時間単位で」借りられる貸室があります。

●多彩な貸室

少人数で利用できる研修室をはじめ、300人まで収容可能な大会議室の他、茶道具を備えた和室や調理実習室など、目的に合わせてお選びいただけます。

●お手軽な料金

研修室(定員30名)なら、平日1時間420円。しかも夜間も同料金(営利団体や営利を目的とする利用の場合は、840円)。さらに、冷暖房やプロジェクターなどの備品は、全て無料。

●便利

目の前を路面電車が走り、JR旭駅からもすぐの便利な場所にあります。簡単な利用登録をすれば、予約は電話でOK。ぜひお気軽にお問い合わせください。



和室



レクリエーション室



大会議室

図書・情報資料室から

ソレーには、男女共同参画の視点で選んだ蔵書や雑誌・新聞、DVDなどを数多くそろえた図書室があります。貸し出しは全て無料。

貸し出し

図書は5冊まで(2週間)

DVDは2本まで(1週間・高知市外に在住の方は2週間)

利用時間

火曜～金曜 9:00～20:00 土・日・月曜 9:00～17:00

貸出には図書利用カードが必要です。初めてのの方は、名前・住所が確認できるものをお持ちのうえ、受付にお申し出ください(作成は17:00まで)。



講座のご案内



無料託児付
(6ヵ月～就学前児童・予約制)

無料 参加費無料

子育て応援講座

私にもできる！小さな命をつなぐ防災講座



子育て世代が生活の中で防災に取り組むヒント満載の、聞いたらすぐに実践したくなる内容です。家族みんなで命をつなぐ力を身に付けましょう。お子さんと一緒に参加も可能です。

日 時 7月29日(土) 10:00～12:00

講 師 あんどうりす(アウトドア防災ガイド)

参加費 500円※小学生以下無料

対象・定員 妊娠中から就学前のお子さんを持つ家族や、子育てや防災に関わる方50名(先着順)

申 込 7月3日(月)9:00～電話またはホームページにて

その他 筆記用具をお持ちのうえ、動きやすい服装でお越しください。

パソコン講座

ワード検定対策講座



就職やスキルアップのために、サーティファイ3級資格を取得するための対策講座です。講座終了後、希望者には検定を実施します(検定料は別途必要)。

日 時 8月6日(日)・20日(日)・26日(土)・9月9日(土)・30日(土)
10:00～16:00(全5回)

講 師 横山桂子(NPO法人とさはちきんねっと)

参加費 8,000円(テキスト代3,000円込)※初回にお支払いください。

対象・定員 就職活動中または仕事をしている20代～50代の女性20名(先着順)
*ワードの基本操作ができる方

申 込 7月3日(月)10:00～電話にて、NPO法人とさはちきんねっとまで

NPO法人とさはちきんねっと

Tel 090-5712-2040 (受付時間:平日10:00～17:00)

図書PR事業

わたしのためのリフレッシュタイム～夜編～



仕事帰りや夏休みの夜にひと休み。お茶付の映画や読書で疲れをリセットしてみませんか?「映画上映会」か「読書タイム」のどちらかお好きな方にご参加ください。申し込みは不要です(託児のみ必要)。

読書タイムでは届いたばかりの本もご覧いただけます。

上映作品 「スーパ・オペラ」2010年制作/日本

日 時 8月18日(金) 18:30～20:30

託児方法 往復はがきまたはホームページにて。締切は8月5日(土)17:00必着。

※往復はがきの場合、①参加者氏名②電話番号③住所④託児のお子様の氏名、月齢、性別

その他 図書利用カードの提示が必要(身分証明書持参で当日作成可)。

- 詳しくは、ホームページをご覧ください。
- お申し込み・お問い合わせは、お電話でソーレまで

TEL (088) 873-9100

男性応援講座

会話がちょっと苦手な男のためのコミュニケーション術



「家族と話が噛み合わない」「地域の人と何を話したらいいのか、わからない」…と多くの悩みを持つ男性達。長年多くの男性の悩みを聞き、相談に携わってきた講師に見えてきたものは?相手との良好な関係を保つと共に自分のストレスも軽減する話し方。そのノウハウと一緒に学びます。

日 時 9月10日(日) 13:30～16:30

講 師 吉岡俊介(シニア産業カウンセラー、キャリアコンサルタント)

参加費 500円

対象・定員 男性30名(先着順)

申 込 8月7日(月)9:00～電話またはホームページにて

女性のための起業café

女性のための起業café ～先輩起業家と話そう～



県内で起業している先輩に仕事への思いや経験を聞いてみませんか。参加者同士で悩みや不安を共有し、起業に向けて一歩を踏み出しましょう。

日 時 10月7日(土) 10:00～12:00

講 師 白井純子(オフィス・ウスイ代表)

参加費 500円

対象・定員 女性20名(先着順)

申 込 9月1日(金)9:00～電話またはホームページにて

エンパワメント講座

私もあなたも大切にする自己表現レッスン



自分も相手も尊重しあうコミュニケーション能力を身につけてホンネや意見を表現しましょう。

日 時 10月15日(日) 10:00～16:00

講 師 小林京子(有限会社ヒューリス取締役社長)

一般社団法人起業支援ネットワークNICE理事)

参加費 1,000円

対象・定員 女性30名(先着順)

申 込 9月8日(金)9:00～電話にて

購読は
無料!

☐ ソーレ・メールマガジン
「FROM ソーレ」

こちらの
QRコードで
登録画面に
直接アクセス。



講座情報を定期的にお届けします。

申込はホームページの登録画面から。

登録後届く確認メールのURLにアクセスして、

申込を完了してください。

施設利用のご案内



●貸室利用時間

9:00～21:00(土・日・月曜日9:00～17:00)

●休館日

第2水曜日・祝日・(年末年始)12月29日～1月3日

●図書・情報資料室

9:00～20:00(土・日・月曜日9:00～17:00)

※ただし図書利用カード発行及び再発行の受付は、17:00まで

●相談室

9:00～12:00、13:00～17:00

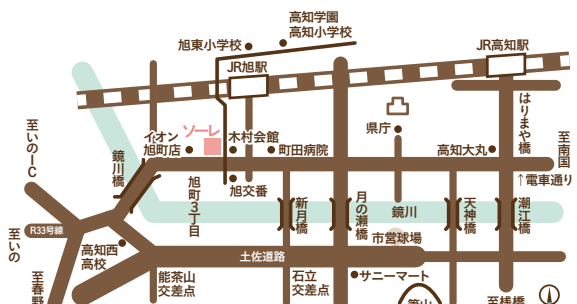
(専用電話/088-873-9555)

※第2水曜日、祝日、12月29日～1月3日は休室です。

あなたの声をお聞かせください

紙面へのご感想、また主催
事業や施設利用等に関する、
あなたの声をお待ちします。

- 電話: 088-873-9100
- Fax: 088-873-9292
- Eメール: sole@sole-kochi.or.jp
- ホームページ: <http://www.sole-kochi.or.jp>



●所在地 〒7800935 高知市旭町3丁目115番地

●アクセス 電車…「旭町3丁目」下車100m

バス…「旭町3丁目」下車50～200m

JR…「旭駅」下車400m

※駐車スペースが少ない
ため公共交通機関を
ご利用のうえ、ご来館
ください。

発行 公益財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団

発行日 平成29年7月10日